

昨年度と同様に霧島市国際交流協会の依頼を受けて、11月9,10日に実施された霧島ふるさと祭のブースにて、本校留学生2名（カメルーン・マレーシア）が民族衣装を着て参加してきました。ワークショップでは、待ち人が出る程に賑わいました。



ブースでは折り紙で作る扇子の補助を担当しました。参加した留学生は「思った以上に折り紙が面白かった。」と言ってました。途中で会場司会者が突撃インタビューに来られましたが、留学生たちは流暢に対応しておりました。また、会場では「着ぐるみ」という単語と文化にも触れました。いろいろな学びの場にもなった様子です。

